

新分科会等について（参考資料）

- 広域アクションプランと新分科会との関係
- 広域アクションプランの実施状況
(瀬戸内海・日本海の地域産業分科会関係)
- 新分科会の令和5年度取組の理由

広域アクションプランと新分科会との関係

気候変動影響情報把握・情報活用分科会

気候変動影響の把握（モニタリング方法）やモニタリング情報の活用方策について、協議を行う。

※ 関係主体：令和5年度は、漁業者、流通業者・加工業者、消費者等が想定される。

適応アクション①

想定される将来の環境変化と
適応オプションとの対応表

将来予測
(海水温・魚種)

適応オプション

時間

広域アクションプラン

モニタリング情報の収集は可能な状態

適応アクション② 気候変動の不確実性に備えたモニタリング及び情報共有

海水温等公開情報への
リンクサイト

- ・海水温等公開情報の集約・発信
(自動処理)
- ・新規モニタリングデータの収集
(簡易海水温測定装置試作・試行)
※ 民間団体との連携

釣果情報の集約・発信
※ 民間団体・既存団体との連携

広域アクションプランの実施状況

－海水温等公開情報へのリンクサイト－

瀬戸内海・日本海海洋モニタリングネットワーク 海洋環境・水産業公開データ一覧

○今後の方向性
未実施エリアへの水平展開
(普及啓発)

No	データ名称	項目	年代（公開している年度）	地点	データ形式	公開ページ	お問い合わせ先
1	調査船「かいせい」による定期海洋観測	月別水温(水深50、100m) 月別塩分(水深50、100m)	2019年～	山口県沖合、山口県沿岸	PDF	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/125/21873.html	山口県水産研究センター外海研究部
2	萩-見島旅客船「ゆりや」による表面水温観測	月別水温(表層)、 平年水温(表層)	直近2ヵ年、 1991～2020年	萩沖	PDF	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/125/21873.html	山口県水産研究センター外海研究部

■ 前年度までの広域アクションプラン策定事業で策定した、適応アクション②の実証を踏まえて、本年度以降実施

■ 左図は、山口県気候変動適応センター様によるHP掲載実施例。他にも島根県気候変動適応センター様、ひろしま気候変動適応センター様で実施済。

(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/246/197986.html>)

広域アクションプランの実施状況

－海水温等公開情報の集約・発信－

海水温収集・公開（既存公開情報収集）

瀬戸内海及び日本海においては、近年の海水温上昇によって、沿岸の漁業（藻場）やノリやワカメ、カキ等の養殖業に影響が生じており、今後の気候変動の進行によって、さらなる適応策が必要となる可能性が指摘されています。

地域の将来予測や適応アクション検討に寄与するため、既にHP上でオンライン公開されている海水温データの収集・記録・公開・ダウンロードサービスを提供します。

※ 海水温の収集先（許可済）

- 島根県の海水温情報（※ ユビキタスブイシステム）
- 徳島県水産研究課リアルタイム水質情報配信システム
- 香川県の水温情報（香川県水産試験場）

－免責事項－

- ※1 当法人は公開データに関する質問には回答できません。
- ※2 詳細はデータ収集先のサイトをご確認をお願いします。
- ※3 メンテナンス及び故障等で停止する場合があります。

○今後の方向性
実施可能な測定点への
水平展開（普及啓発）

	測定点	海水温(最新)	測定日	測定時刻
1	島根県 多古	12.2℃	2023/03/29	09:10:35
2	島根県 多伎	-9.9℃	2022/11/13	03:45:06
3	島根県 真和	27.3℃	2023/08/06	06:54:55
4	徳島県 鳴門庁舎	27.1℃	2023/08/20	22:00:00
5	徳島県 美波庁舎	27.0℃	2023/08/13	15:00:00
6	徳島県 浅川	27.9℃	2023/08/20	21:00:00
7	香川県 播磨灘	28.9℃	2023/08/20	19:30:00
8	香川県 備讃瀬戸	27.6℃	2023/08/20	19:30:00
9	香川県 綾灘	29.0℃	2023/08/20	19:30:00



広域アクションプランの実施状況

－ 海水温収集・公開（測定装置の試作）－

海水温収集・公開（測定装置の試作）

○今後の方向性
測定ニーズを有する主体
への水平展開(普及啓
発)

地域の気候変動影響予測や適応アクション検討に寄与するため、海水温測定装置の導入コストを抑えることで、測定点の拡大を目指します。

現在の試験環境は、室内に水の入った容器を準備して、海水温測定装置の子機で水温を測定し無線で親機に送信、親機はインターネット経由で情報をサーバーに記録しています。記録した情報は、ホームページが閲覧できるパソコン又はスマホで確認できます。

※ 特徴

- 無線通信（LoRa）モジュールを搭載したボード採用による初期コスト及び通信コストの低減
- 分レベルでの測定周期を実現
- 電子工作が得意な方であれば自作可能

－ 免責事項 －

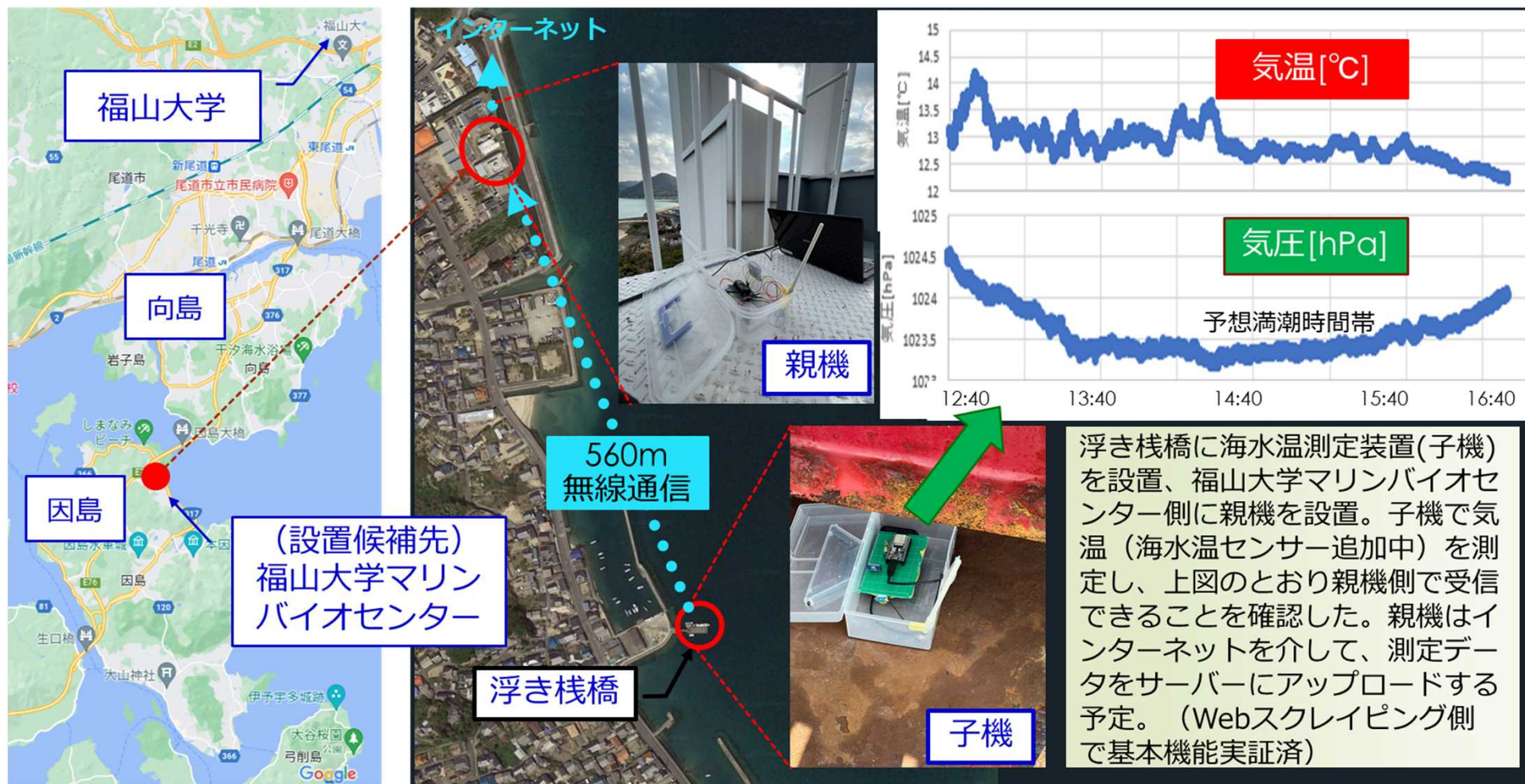
- ※1 高精度・高信頼性は求めています。
- ※2 第三者の利用を想定しています。
- ※3 公開データの保証はご容赦ください。

	測定点	海水温(最新)	測定日	測定時刻
1	テスト用	26.2℃	2023/08/20	22:39:10

広域アクションプランの実施状況

－海水温収集・公開（測定装置の試作）－

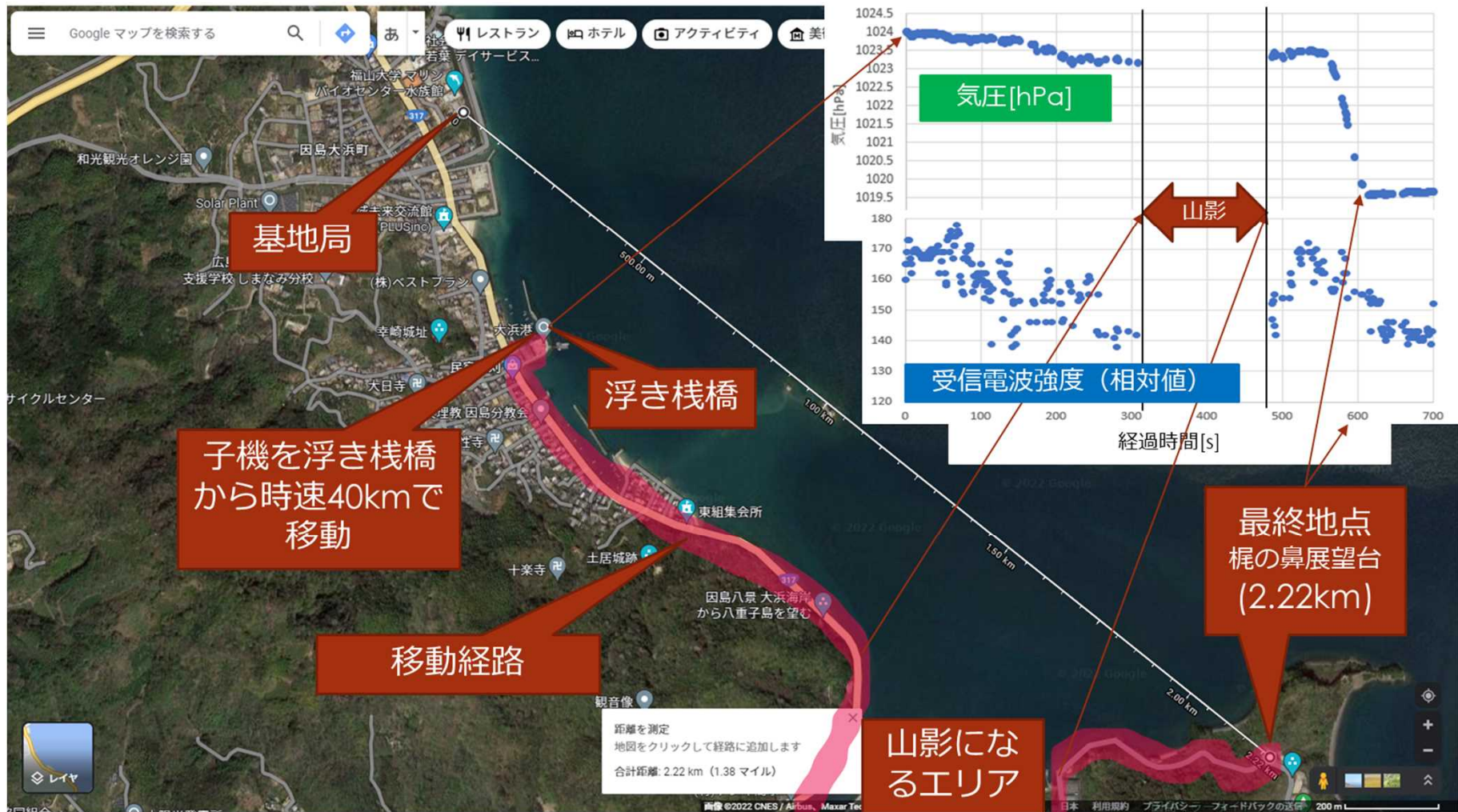
4時間通信試験 (2022年12月28日 12:40～16:40)



広域アクションプランの実施状況

－海水温収集・公開（測定装置の試作）－

通信能力（距離）の検証（2022年12月28日16:40～16:50）

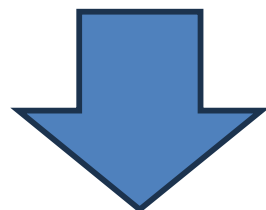


新分科会の令和5年度取組の理由

気候変動影響情報把握・情報活用分科会

気候変動影響の把握（モニタリング方法）やモニタリング情報の活用方策について、協議を行う。

※ 関係主体：令和5年度は、漁業者、流通業者・加工業者、消費者等が想定される。



令和5年度取組の理由

適応アクション②で得られるモニタリング情報に基づく気候変動影響情報と水産関係者が必要とする気候変動影響情報の差を補完するための方法をまとめる。